



教育大運動 1741 推進ニュース

各地のとりくみ 2024③～香川県高松市から～

2024年7月3日
発行：教育大運動
1741 事務局
No.35

香川県の教育シンポジウム、大成功！

香川では「教育大運動 1741」の一環として6月29日(土)、県労連主催、高教組・県教組・私教連の共催で「学校現場を改善し、豊かな教育の実現を求める教育シンポジウム」が開催され、他職種の労組組合員や一般県民、教員OBなど学校現場以外の参加者約80名を含む約150名が参加しました。

全労連議長の小畑雅子さん(前全教中央執行委員長)が講演を行い、総額裁量制の導入と教育基本法の改悪が今日の学校の危機的状況をもたらしたことを指摘し、中教審「審議のまとめ」がいっそうの長時間労働と教職員集団の分断をもたらすものであることをわかりやすく示しました。そして「審議のまとめ」ではなく「全教7つの提言」の実現に向けて取り組みをすすめよう」と訴えました。現場の教職員と保護者が登壇したパネルディスカッションでは、「放課後に子どもたちと接する時間が全く取れない」(小学校)、「代替が見つからず、産育休や短時間勤務などの権利を行使しづらい雰囲気」(高校)、「観点別評価が生徒からも教員からもゆとりと主体性を奪っている」(高校)、「財政が限られ、教職調整額や残業代が増えると本俸を下げられる。私学助成の増額を」(私学)などの声が上がりました。保護者からの「クラスの生徒たちのことを先生方はどれくらい理解できているのか？」という質問にはパネリストから、「教員の本務である生徒を理解し寄り添うことすら今の多忙な現場では困難になりつつある」という深刻な状況が述べられました。助言者の小畑さんから「教育労働者の権利を守ることは、子どもたちの権利を保障すること。教職員と保護者の要求を統一して力を合わせて運動を進めていこう」とのまとめがありました。



参加者の感想からは、「教育基本法改悪や財界の要求などが今の学校の問題の原因になっていることがよく分かった」「教職員増員のために教育予算を増やす政治を実現しなければ」などの声が寄せられ、教育の危機打開に向けた県民の理解の広がりが感じられるシンポジウムとなりました。

(文：香川県高等学校教職員組合 書記長 中村 吏)

☆これから開催される予定！

開催自治体	開催場所	日時	集会名	問い合わせ先・その他
広島県 広島市	広島ロードビル	7月27日(土) 13:30～	教育シンポジウム 聞きあおう 語り合おう 子どもが幸せに生きる社 会とは	全広島教職員組合
香川県 高松市	香川大学	10月5日(土) 10:00～ ※教育大運動つ ながるフェス	香川県教育研究集会 講演会(妹尾昌俊さん) 分科会、教職員と大学生が 語り合う会	香川県高等学校教職 員組合

教育大運動 1741 推進ニュースでは、各地でのとりくみを紹介していきます。
各地のとりくみ報告を送ってください。あれば写真も送付してください。

Mail: kyoikudaiundo1741@educas.jp

教育大運動 1741 はポータルサイトを展開しています。下記 URL か、二次元コードか
らご覧ください！



URL: <https://www.kyoikudaiundo1747.jp>

※ポータルサイトのアドレスは「1747」のままです！